

# し ぶ し 志布志



市議会だより

No.37

2015.5.26 発行



おしゃかまつり

志布志市議会



3月  
定例会

|                     |    |
|---------------------|----|
| 27年度当初予算            | 4  |
| 地域活性化・地域住民生活等緊急支援事業 | 6  |
| 介護保険料7%引き上げ         | 7  |
| 9議員が一般質問            | 11 |



**3月定例会**

## 平成27年 第1回定例会

平成27年3月定例会を3月4日から25日までの22日間開きました。平成27年度一般会計・特別会計の当初予算、平成26年度補正予算など議案36件を審査しました。当初予算は前年度（6月補正後）との比較で11億7791万4千円、6.2%の増となり原案のとおり可決しました。

「志布志市介護保険条例の一部改正」や「志布志市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定」は原案のとおり可決しました。

他の議案及び「受動喫煙の防止措置の強力な推進を求める陳情書」は採択し、「志布志市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定」の発議1件を原案のとおり可決しました。

一般質問は9名の議員が地方創生、教育行政、福祉行政、道路行政等についてたどしました。

平成27年度一般会計

本会議での質疑応答

各委員会での質疑応答は

7頁から

有害鳥獣捕獲

**Q** 有害鳥獣捕獲事業について、平成26年度は補正を数回繰り返して約550万円を要している。今年度は220万円予算計上されているがこの金額で大丈夫なのか。

**A** 平成27年度は前年度当初と比較すると増額して計上した。本年度も積極的な予察捕獲等を実施し、予算に不足が生じる場合は補正予算で対応したい。

定住促進住宅

**Q** 泰野地区の定住促進住宅は、分譲地の区画を何区画考えているのか。また、坪単価はいくらを考えているのか。

**A** 松山中学校隣接地に10区画の分譲地を予定している。販売価格は、泰野地区内で「なのはな団地」が坪1万円、新橋地区で「あじさい団地」が1万2000円で分譲

されているため、不動産検討委員会で検討したい。



松山地区泰野の定住促進住宅予定地

福祉タクシー

**Q** 福祉タクシーの旧町間の乗り入れについて、昨年度から試行的に行われているが、今年度も実施するのか。

**A** 現在、松山と志布志間、有明と志布志間を、毎週水曜日に実施している。これは、病院・大型スーパー・買い物等の利用があり、27年度も継続して実施する。

テニスコート増設

**Q** 松山の城山にあるテニスコートが3面増設される。市民が使用できないことも多いようだが、今後の利用方法は。

**A** スポーツ合宿で50名を超える団体になると偶数面の8面が必要となる。8面をスポーツ合宿用2面を市民に利用してもらいバランスのとれた利用方法を考えていく。



テニスコートでの現地調査



福祉タクシー

**地域おこし協力隊**

**Q** 地域おこし協力隊の隊員は何人を考えているのか。また、1人当たりの報酬額はいくらか。

**A** 現在、17名の応募があり、9名の採用を予定している。非常勤の嘱託職員で、報酬は16万5000円、他に住宅手当、保険料等を支出する。

**ふるさと納税**

**Q** ふるさと志基金寄附金について、歳入で寄附金が1025万円計上されているがその根拠は。

**A** 寄附金の額を1万円から5万円程度を約400名と想定した。

**(賛成多数で可決)**

**平成26年度一般会計補正予算(第7号)**

**本会議での質疑応答**

事業内容は6頁

**Q** 次年度以降の取り組みは。

**A** 27年度に市の総合戦略を策定し、5ヶ年間は、国から財源措置があることが示されている。市としては10年、20年先を見据えた戦略計画を策定し取り組んでいく。

**Q** 多機能型拠点施設整備事業にある多世代交流の場と情報発信の場は違うのか。

**A** 施策の基盤となる情報発信事業の情報発信拠点とし、かつ商店街活性化の拠点として空き店舗を再利用した小さな拠点を市が整備し、運営を民間に委託するものである。施設の中でカフェや物販等をおこない、多世代の交流の場になることを目指す事業でもある。建物借上料を21万円、施設リフォー

△工事費として設計費を40万円、工事費を460万円計上した。

**Q** シンフェスティバル事業で、市が捉えている若者文化とはなにか。

**A** 市街地に若い世代が必要かを協議した。現在のグルメストリートのにぎわいを絶好のチャンスと捉えているため、音楽イベントを開催し、若者が市街地を行き交うにぎわいのある通りにするための事業を展開していく。

**人権擁護委員の推薦について**

**谷口 誠一氏(野神)**  
春日敏彦氏の任期満了に伴う後任の提案があり適任と決定しました。

**竹之内 京子氏(安楽)**  
山裾律子氏の任期満了に伴う後任の提案があり適任と決定しました。

**発議**

**志布志市議会 委員会条例の一部を改正**

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、教育委員会制度の見直しの措置が講じられたため、当該措置に関する規定を改める。

**「教育委員会の委員長」**

**「教育委員会の教育長」**

**(全会一致で可決)**

**陳情**

・受動喫煙の防止措置の強力な推進を求める陳情書  
主な意見として、

健康増進法が施行され10年以上経つ。行政、国民も義務がある。陳情の趣旨等を含め採択し、行政と共に進めていく必要がある。

**採択**

・「JA自己改革」に関する陳情書  
・あおぞら農業協同組合  
・そお鹿児島農業協同組合  
主な意見として、

全国農業協同組合中央会の会長からも「法人化」「外部監査制度導入」について政府案を認めることが示されている。地元農協が提出している陳情と、全国農業協同組合中央会との考え方に整合性が見られない。今後、全国農業協同組合中央会から方向性が示されていくと思われる。

**不採択**

前年度比  
(6月補正後)  
**6.2%増**

# 特別会計予算 102億759万円

## 27年度の事業

都市から移住する住民を市が「地域おこし協力隊員」として委嘱し、地域ブランド及び地場産品の開発・PR等の地域おこし活動、農林水産業への従事、生活支援等の地域協力活動を行うことで、地域への定住及び地域の活性化を図ります。

2866万円

### 地域おこし協力隊事業

津波避難階段、避難路に再生可能エネルギーを活用した照明を設置し、津波発生時の迅速な避難に役立てます。

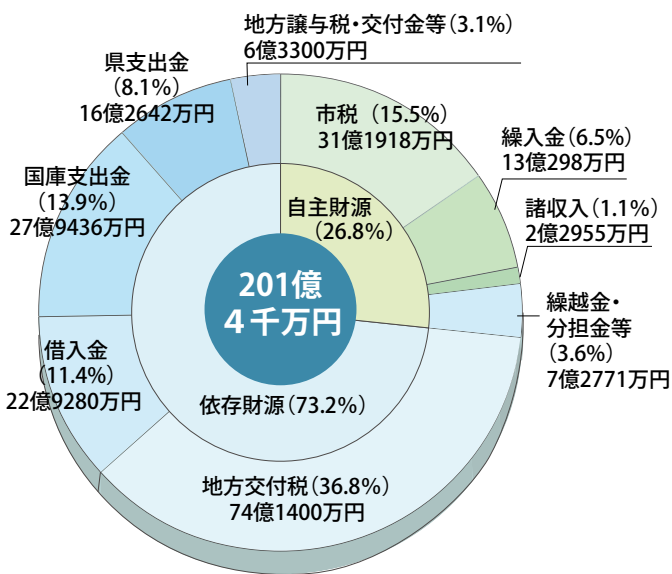
551万円

### 津波避難用ソーラーライト設置

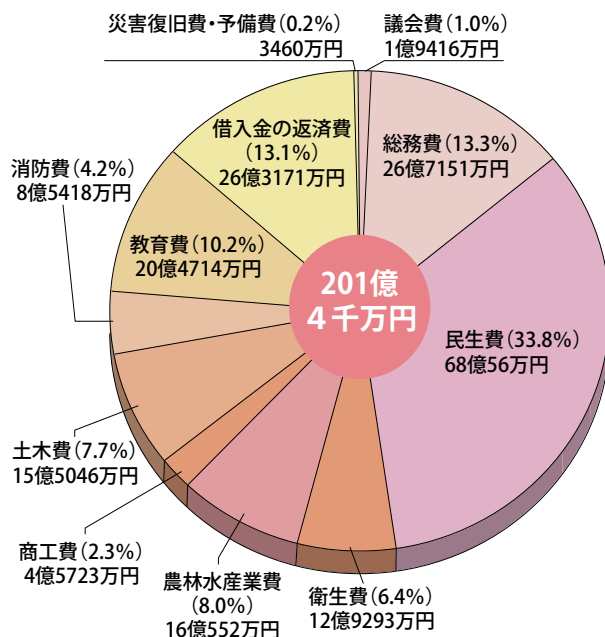


## 当初予算の構成

### 歳入



### 歳出



## 平成27年度特別会計

| 会計名     | 予算額       | 対前年度比  | 採決結果 |
|---------|-----------|--------|------|
| 国民健康保険  | 53億1201万円 | +17.2% | 賛成多数 |
| 後期高齢者医療 | 3億7098万円  | +2.7%  | 賛成多数 |
| 介護保険    | 40億338万円  | +1.8%  | 賛成多数 |
| 下水道管理   | 3億117万円   | △5.6%  | 全員賛成 |
| 公共下水道事業 | 283万円     | △0.1%  | 全員賛成 |
| 国民宿舎    | 1億1358万円  | +0.5%  | 全員賛成 |
| 工業団地整備  | 1億364万円   | △56.9% | 全員賛成 |
| 合計      | 102億759万円 | +7.4%  |      |

# 27年度 当初予算 一般会計 201億4千万円

## その他の事業

**志布志駅舎等整備に伴うプロデュース業務… 373万円**  
「おもてなしの玄関口」として活用しているJR志布志駅をさらに「まちの顔」となる新しい駅として整備するための計画を策定します。

**既存店舗のリフォーム工事に助成 …… 300万円**  
商工業の振興対策や後継者の育成に支援します。

**移住定住を促進 …………… 620万円**  
人口減少が進む中、中山間地域の活性化と均衡ある発展を目的に、市外からの移住者に住宅の新築、購入経費の一部を助成します。

**放課後児童健全育成事業 ……… 1億519万円**  
仕事等により保護者が昼間家庭にいない児童に、授業の終了後に適切な遊びや生活の場を与え、健全育成につとめます。



**小・中学校施設改修事業 …………… 6750万円**  
児童・生徒が安全で、適正かつ良好な学習環境で学べるように、施設の適正管理・維持保全を図ります。

**自治会提案型活性化助成事業 …… 3800万円**  
共生・協働のまちづくりや地域活性化を図るため、自治会の活動に対し助成金を交付します。

**一日お茶プラス6杯運動事業 …………… 537万円**  
生活習慣病に対する緑茶の効能を実証するため、調査対象者の血液中のカテキン濃度、コレステロールの関係を実証し、健康増進に対する意識高揚を高めるとともに茶の消費拡大を図ります。

**小・中学校就学援助事業 …………… 4409万円**  
経済的理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に、就学に必要な経費の一部を援助し、保護者の負担軽減を図るとともに、児童・生徒が安心して学校へ通学できる環境を整えます。27年度から、給食費は全額援助になります。

## 子ども医療費を助成

1億448万円

高等学校卒業前の満18才までの子どもの保険診療にかかる医療費の自己負担分を全額助成（高額医療費等を除く）し、疾病の早期発見、早期治療を促進し、健康の保持増進につなげます。

## ふるさと納税特産品事業

396万円

ふるさと納税寄付者に対する感謝の気持ちと本市特産品のPRを目的に、寄付金額に応じた特産品を送付し、「ふるさと志布志」への応援者を募ります。



## 城山運動公園テニスコート増設事業

8173万円

テニスコートを3面増設することにより、市民の健康意識と競技力の向上を図るとともに、スポーツ合宿への積極的な推進を図ります。



3面増設され10面になるテニスコート

# 平成26年度補正予算 (平成27年度実施) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援事業 1億3502万4千円を追加

## プレミアム(割増金)商品券発行事業 7853万円

市内商工業の振興及び地域経済の活性化並びに消費者の消費喚起を促すため、プレミアム(割増金)20%付の商品券の発行、販売等を助成する。

## 地方版総合戦略・人口ビジョン策定事業 968万円

地方版総合戦略等策定のための組織作りを行い、地方人口ビジョン策定事業等を委託する。

## 情報発信事業 864万円

イベント等映像生中継配信、市PR映像制作配信、お茶やハモ等の特産品PR映像制作配信などの動画配信事業及び特集記事編集配信等事業を委託する。

## 創業支援相談等事業 80万円

専門家による創業支援、販路開拓、UJJターン、地域しごと支援等に関する相談及び研修会を開催する。

## 多機能型拠点施設整備事業 521万円

市内中心市街地空き店舗を活用し、「多世代交流の場」・「情報発信拠点」の整備を図り、商工業者・地域住民と連携し市街地の活性化を創出する。

## 空き店舗調査事業 463万円

市内全域の空き店舗の状況及びニーズ調査を行うことにより、空き店舗の活用方策を検討し、商工業の振興を図る。

## シシフェスティバル開催事業 546万円

音楽イベントを開催し、若者文化を盛り上げ市外への転出を減らし、UJJターン者を増やすことで志布志市の活性化を図る。また音楽イベントと併せて商店街の飲食店を「グルメストリート」とし、フェスティバル参加者にクーポン券を配布することで、商店街活性化の効果も狙う。さらに、ライブイベント等をシンガーデンで生中継し、志布志の若者文化を市内外に発信する。

## UJJターン推進事業 420万円

地方への新しいひとの流れをつくるため、移住を検討している都市部からのUJJターン希望者等に対し、ツアーの実施や助成及び後継者を対象とした婚活を実施し、本市を訪れていただく。また、廃校となった学校跡地の有効策を検討し、地域間における多世代交流の場及びUJJターン交流拠点の場としての活用を模索する。

## 農林水産物販路開拓促進事業 200万円

志布志市の農林水産物の輸出を推進するために、生産者、流通業者及び販売者が一体となって、輸出相手国の食品安全基準に対応した生産流通の体制を整備するための費用を助成する。

## 特用林産物(枝物)総合支援事業 325万円

こころざし花木ブランド確立に向け、さらなる事業内容の拡充に努めるため、花木生産の拡大、組合員の技術向上に向けた取り組み等を支援する。

## 販路拡大支援事業 300万円

市内産品の販路拡大とPRを図るため、市外物産展や商談会へ参加するための費用の一部を助成する。

## 土曜学習教室事業 524万円

学習講座を開設することで、土曜日の有意義な過ごし方を提供するとともに、学力向上と地域に貢献する人物の育成を図る。

## キラリ輝く「しゅしっ子」育成事業 240万円

地域ぐるみで青少年を育成する環境づくりと、「土曜体験広場」事業を推進し、こころ豊かでたくましい青少年の育成を図る取り組みを支援する。

## クリエイティブクラブ活動事業 200万円

市民を対象に、映像やIT技術の講習・実習を行い、生涯学習の推進や情報発信事業の担い手を地元で育成する。

# 介護保険料7%引き上げ

## 文教厚生委員会

平成26年度一般会計  
補正予算(第7号)

(学校教育課)

Q 10月から始まる土曜授業と土曜学習教室の関連性はあるのか。

A 土曜授業は10月の第2土曜日から開始され、教科の学習が主である。土曜学習教室は5月の第4土曜日から来年2月まで、25回計画し、子どもの健全育成、基本的な生活習慣の改善、学力向上に繋げていくための事業である。

志布志市介護保険  
条例の一部を改正

Q 法定外繰入れをして保険料の引き上げをしなため議論はなかったのか。

A 議論はなかった。

市長への総括質疑

Q 国保会計で約1億2千万円、下水道会計で約1億6千万円の法定外繰入れがされている。同様に介護保険への法定外繰入れはできなかったのか。

市長 一般会計からの法定外繰入れは考えていなかった。

施設や利用者が増えたため、鹿児島県本土で介護保険料が一番高いまちになってしまった。前回の26%の引き上げからすると、今回は7%と低かったため、市民に十分理解してもらえない内容であると判断し改正するものである。

反対討論

○国が法律を改正したため引き上げをするという議論であった。介護保険の加入者の実態は大変な状況にある。引き上げを含む条例改正には反対。

一般会計当初予算

(教育総務課)

Q 学校給食センターの統合に向けての計画は。

A 施設の老朽化等総合的に勘案し統合する方向で進めている。

Q 奨学金の滞納額は。

A 2月末で、1124万4800円である。

(市民環境課)

Q 合併浄化槽整備率は。

A 25年度末で59.2%である。今後、単独浄化槽から合併浄化槽や農

業集落排水への転換を図る。

(生涯学習課)

Q 麗庭園を中心とする観光資源としての活用検討委員会を開催するところがあるが、麗庭園周辺だけの活用検討なのか。

A 3つの庭園だけではなく、志布志城、宝満寺、大慈寺、商家資料館も計画中である。現在整備中の志布志駅との役割分担、埋蔵文化財センターを含めた活用策を検討する。

(福祉課)

Q 小児科に委託している病児保育の利用者数は。

A 実績として24年度897名、25年度979名、26年度12月末現在で688名である。毎年100名程度伸びている。

(保健課)

Q 子どもにやさしいまちづくり事業は、思春期の子どもに生命の尊厳を理解させる意義ある事業である。宇都中と松山中の2校だけ実施しているのか。

A 全市の養護教諭の会議で、事業内容について紹介したが、応募した

中学校は2校だけだった。

市長への総括質疑

Q 子どもにやさしいまちづくり事業に希望する中学校が少ない。全中学校で実施すべきではないか。

市長 全中学校で実施すべき内容だと思う。教育委員会をおして推進する。

反対討論

○社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)は、個人情報を一元化し、さまざまなものに利用されるため不安である。庁舎内で統一した見解がない状況では問題がある。

(国民健康保険  
特別会計予算)

Q 短期保険証の交付状況は。

A 3月3日現在で534世帯である。

反対討論

○国が医療費負担を45%から33.2%に引き下げたことに原因がある。国庫負担の割合を元に戻す努力もされていない。併せて平成30年度から県に移行されるが、そうなるにますます保険料が高くなるため反対。

後期高齢者医療  
特別会計予算

Q 重複・頻回受診者等訪問指導の対象者数は。

A 26年度実績で、重複者15名、頻回者5名、リハビリ重複頻回者12名、合計32名を訪問指導した。

反対討論

○短期保険証を8名に交付していること自体考えられないため反対。

介護保険特別会計予算

Q 条例改正による影響額はいくらになるのか。

A 3年間で約8300万円、27年度は約3200万円を見込んでいます。

反対討論

○施設への待機者も多く、保険料を納めてもサービスを受けられない欠陥のある制度である。

下水道管理特別会計予算

Q 最適整備構想とは。

A 27年度に金額や優先順位がわかるよう計画書を策定することである。26年度には機能診断を4施設行った。

# 20%割増しの商品券を発行

## 総務委員会

平成26年度一般会計  
補正予算(第7号)

### 〔企画政策課〕

**Q** 創業支援相談等事業の地域しごと支援は、相談窓口をつくるのか。

**A** 仕事支援のほかに、販路拡大、UーJターン、観光等に関する相談事業などを含めた総合的な窓口になるよう取り組む。

**Q** 地方版総合戦略・人口ビジョン策定事業の事業内容と委託する内容は。

**A** 将来の人口推計を計画的に策定していく。委託内容は、人口推計など特殊な作業やその中身の分析などである。

### 〔港湾商工課〕

**Q** プレミアム商品券発行事業について、低所得者層などにも配慮した商品券や市制10周年にあわせた商品券についての議論はなかつたのか。

**A** 多子世帯などの商品券の発行について議論したが、今回は20%割増しのプレミアム商品券を発行することにな

た。今回、ニーズが高い場合は、県の事業も活用し、10周年記念事業にあわせた商品券も検討したい。

**Q** 商品券の使える店舗は、国の指導で商工会の加入を条件としているのか。

**A** 国の指導ではないが、商工会に委託する以上は、商工会会員が条件となっている。



ひまわり商品券2014

**地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定**

《内容》 教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地方教育行

政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、地方公共団体の長と教育委員会との連携の強化とともに、地方に対する国の関与の見直し等を図る制度の抜本的な改革を行うものである。

### 市長、教育長への総括質疑

**Q** 教育長の任期があと3年残っており、最初から新制度に移行することもできた。また、1年後に新制度に移行するという考えもあるわけだが、移行の時期について、市長と教育長で話をしたのか。

**市長** 教育長と十分協議をし、その内容について、見極めをしながら、新制度に移行しようということになった。

**教育長** 経過措置があるため、他市町の状況など総合的に考慮しながら、総合教育会議等で協議していきたい。

**Q** 市長、教育長、議会それぞれ責任の重さについての考えは。

**市長** 最終的な責任は首

長にある。また、任命された教育長の同意を議決する議会にもそれぞれ責任が生じることになる。

**教育長** 市長が任命し、議会から同意を得た場合、教育長の所信を述べる機会もあるのではないかと。

**地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定**

《内容》 人事院の平成26年度の給与改定に関する勸告に従い、議員、市長及び副市長の報酬又は給料の額を改定するものである。

**Q** 県内の市で人事院勸告どおり引き下げを行ったところがあるのか。

**A** 特別職で、人事院勸告に基づき引き下げをするところは、現在のところ志布志市だけである。

**志布志市一般職の職員給与に関する条例の一部を改正**

《内容》 人事院の平成26年度の給与改定に関する

勸告に従い、一般職の職員の給料月額及び管理職特別勤務手当の額を改定するものである。

**Q** 管理職の特別勤務手当について、どのように改正されるのか。

**A** 原則、管理職は時間外勤務手当がつかない。ただし、緊急やむを得ない対応で、午前0時から午前5時まで勤務した場合、今までは、週休日等に限って、支給されていた。今回の改正で平日も対象とした。考えられる事例としては、災害対策本部を設置した場合の勤務などがある。

**志布志市教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例の制定**

**Q** 教育長が常勤の特別職となったことでどう変わるのか。

**A** 教育長が教育委員長に権限も有することになるため、教育委員会から事前に委任を受けていれば、非常時に即対応できるようにした。



**一般会計当初予算**

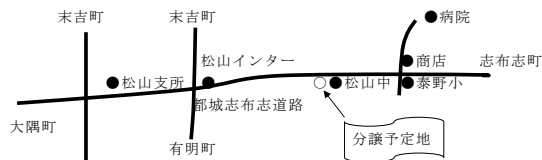
**(財務課)**

**Q** 旧八野小学校のプール塗装工事を

するというのだが、今後の学校跡地利用の進め方にも影響があるので、維持管理については、慎重に方向性を決めていくべきではないか。

**A** 旧八野小学校は、毎年1000万円程度の維持管理費用のほかに

校舎と体育館の耐震工事をしてきた。今後は29年3月に契約が切れるので相手方と維持費用等に関する協議をしていきたい。また、今後の跡地利用に



定住促進住宅予定地での現地調査

ついてもどのような活用がいいのか、維持管理費用も含めた協議をしながら進めていきたい。

**(企画政策課)**

**Q** 松山町泰野定住促進住宅の分譲促進をどのように図るのか。

**A** 松山一Cに看板を設置し、各世帯へのチラシ配布やケーブルテレビ、新聞広告なども利用して促進していきたい。

**(港湾商工課)**

**Q** 店舗リフォーム助成事業は、10件の工事を見込んでいるが積算方法は。

店舗リフォーム助成事業は、10件の工事を見込んでいるが積算方法は。

**A** 新規事業であるため、件数については、想定ができない中で300万円を計上した。事業を執行し、不足するようであれば補正予算で対応し、少しでも事業が効率的に運用できるように執行したい。

**(税務課)**

**Q** ご当地ナンバープレートの発表は、しじの日(4月24日)にすることだが、交付は合併10周年となる1月1日からできないのか。

**A** 事務的には可能だが、全体的に10周年記念事業を進める中で協議が必要だと思つ。



ご当地ナンバープレート (奄美市)

**(情報管理課)**

**Q** マイナンバー制度における周知や運用など、各課どのように役割分担がされているのか。

**A** 広報や特定個人情報保護評価は総務課で行い、スタートに向けた個人番号通知、個人番号カードの発行については、市民環境課が窓口となる。

**(総務課)**

**Q** 市制施行10周年記念事業の予算の内訳は。

**A** 平成28年4月24日に実施するための準備事業で、式典で配布する記念品1000個、記念誌1000部を予定。また、市民憲章策定のための検討委員会を設置する。今回の予算は、先進事例を参考に計上しており、内容等については、4月以降に検討していく。

**国民宿舎特別会計予算**

**Q** 食材などの取り引きは、できるだけ

市内業者とするように指導すべきではないか。

**A** 選定委員会のプレゼンテーションの中でお願いをしている。宮交シヨップアランドレストランの方針が地元とコミュニケーションをつくるということもある。また、新たな特産品の開発も提案している。また、開発する中で、地域と一体となった取り組みをされていくものと考えている。

**工業団地整備事業 特別会計予算**

**(財務課)**

**Q** 現段階で工業団地についての問い合わせはどのくらいあるのか。

**A** 複数の問い合わせがある。製造業については、井戸を掘る必要のある事業者から、地下水利用の問い合わせがある。また、大多数は、港湾関係の物流事業所や木材関連の事業所である。



現在の臨海工業団地

# 市道の廃止・認定・変更を可決

## 産業建設委員会

### 平成26年度一般会計 補正予算(第6号)

#### (農政課)

Q 県営畑地帯総合整備事業の現状と見通しは。

A 県の予算確保が難しい状況で、進捗が遅れている。散水器具等の設置助成を優先的に進めている。

#### (建設課)

Q 夏井橋補修工事は、老朽化によるものか、地盤等の関係か。

A 旧国道で交通量も多かったため、荷重の繰り返し原因の、ひび割れだと判断している。

### 平成26年度一般会計 補正予算(第7号)

#### (耕地林務水産課)

Q 枝物苗木生産体制支援制度について、市内生産者の戸数は。また、新植用の苗木は市内産なのか。

A 市内生産者は1戸である。新植用の苗木は、加世田、鹿屋から調達する。平成28年度分から、市内の苗木で対応できる。

#### (農政課)

Q 販路拡大のトップセールスの内容は。

A 水産・林産物で具体的な品目は想定していないが、現時点では、お茶、肉で話を進めている。

### 一般会計当初予算

#### (農業委員会)

Q 農業委員の研修経費について、多くの委員が参加できる対策がとられているのか。

A 研修の内容や、時期を考慮し、委員の結束力を高め、意思疎通が十分に図られるよう努める。

#### (耕地林務水産課)

Q 中山間総合整備事業倉ヶ崎地区の用水路計画はどうか。

A 地元の要望は、パイプラインである。基本設計の段階では、高低差の関係で微妙である。工法については、今後決定される。

#### (農政課)

Q 環境保全型農業を推進しているが、生産戸数が伸びていない要因は。

A 手間が価格に反映されない。今後はIPMでの減農薬栽培を露地野菜に応用し、学校給食や飲食店への販路拡大に取り組み。

#### (畜産課)

Q 畜産施設整備支援事業は、2回目以降の事業利用も可能なのか。

A 要領改正を検討している。規模拡大は、他項目に優先して2回目の支援ができる方向で周知を図る。環境防疫対策の鶏舎改造、防鳥ネット、省力化対策の畜舎改造についても協議中である。

#### (建設課)

Q 住宅リフォーム助成事業の実績は。

A 26年度2月末現在の総工事費は、104件で約1億2700万円である。

### 公共下水道事業特別会計予算

Q 公共下水道の今後の考え方は。

A 国は、新たな公共下水道事業には着手しない。今後は事業を終結し、維持管理業務に専念する。年内に県内の

実施自治体に対して意向確認をする。調査研究をし、効率的な方法を提案し、事業の存続か廃止かの判断をする。

### 水道事業会計当初予算

Q 漏水対策は。

A 送水管ほか総延長で730kmを保有。耐用年数40年で、年間約20kmの布設替が必要。漏水補修には年間約4000万円の費用を充当している。道路改良に合わせ布設替を行い、統計を取り、多発箇所を重点的に改善する。

### 志布志市営住宅管理条例の一部を改正

Q 住宅と団地の2種類の表記がある。使い分けの基準は。所在地番が同じであれば統一しては。

A 合併後の市営住宅については「団地」に統一した。「住宅」については、住民登録を「住宅」という名称で届けており、変更できない。

### 志布志市水道未普及地域 解消事業分担金徴収条例の 制定

Q 受益者は、分担金以外の費用の負担があるのか。

A 水圧試験を実施し、配管が水圧に耐えられない場合、宅内配管をやり直す必要がある。一般的な工事で約15万円の負担である。

### 市道路線の廃止について

Q 地方交付税は減少するののか。

A 廃止部分と、認定する重複区間は、交付税の算定外のため額の変更は無い。

### 市道路線の認定について

Q 残地となった場所は、草木が伸びゴミ等が散乱している。しっかりと管理が必要ではないか。

A 市道として十分な管理をしていく。

### 市道路線の変更について

Q 港湾道路が完成し大型車輛が増加すると、交通量が多くなる。安全対策のための警察との協議は。

A 早急に警察や公安委員会と協議し、安全性の確保に努める。



野村 議員

# 早期に人口減少対策を図れ

## ▶ 安定した雇用創出が必要である

**野村 広志議員** 市は地方創生における総合戦略を策定しなければならぬが、実施にあたり、現在までの政策の目標達成度合いについては。

**市長** ここにきて、一段と日本一や鹿児島県一が生まれ、成果が現れている。しかし、雇用の場の創出や中心市街地活性化問題をはじめ、達成できていない分野もある。今後、地方創生の最大の課題である人口減少対策も含め検討を進めていく。

### 人口推移の分析結果は

**問** 合併後の人口推移について分析結果を、どのように感じているか。

### 減少幅が危機的な状況である

**市長** 考えている以上の減少幅が示され、危機的な状況であると実感した。そのような観点からさらに、真剣に人口減少対策について取り組むべき課題であると認識をした。

### 定住自立圏構想との関係性は

**問** 鹿屋市・都城市と結ぶ定住自立圏構想について、総合戦略にどのような反映するのか。

### 連携協力を維持しつつ

**市長** 2つのまちから定住自立圏候補地として求められ、極めて地理的に有利な立場にある。高速道路の早期全線開通により、両地域とのさらなる事業推進の一体化による機能性の発揮を期待する。総合戦略策定にあたっては、この点に十分に配慮しながら、作業を進めていきたい。

### 松山インターを中心とした活性化の可能性は

**問** 市の、北の玄関口「都城志布志道路の松山インター」付近の総合戦略の重要拠点としての可能性について示せ。

### 総合戦略の中で検討していく

**市長** 地域の方々の意見を聞きながら、定住推進団地等の造成も総合戦略の中で検討を進めていきたい。



都城志布志道路松山IC付近

### シシガーデンの活用方法は

**問** 自主メディアサイト「シシガーデン」の取り組みを、総合戦略の中でどのように生かしていくのか。

### 情報発信媒体として活用する

**市長** 市の情報発信ツールの一つとして捉えている。この媒体を通して、地域おこし協力隊の応募への手掛かりにも繋がっており、首都圏から若者を引き寄せる効果的な手立てになると考えている。

### 海外に向けた農業振興は

**問** シアトル「スターバックス社」へのトップセールスを行ったが詳細について示せ。

### お茶の海外輸出を期待

**市長** 県内の貿易関係者がシアトル総領事館を通し、スターバックス社が日本のお茶の産地や公的機関との信頼関係の構築に興味あるとの情報を得て、志布志のお茶が、さらに取引に結び付くようトップセールスをおこなった。シアトルでは、お茶の責任者と日本茶に対する意見交換もし、輸出に向けての手掛かりを得られた訪米であったと

認識している。

### 農産物の海外輸出は

**問** 志布志港を活用した農産物の海外輸出の可能性について示せ。

### 調査研究を進めていく

**市長** 一つずつ課題を克服していく。特に、畜産物においては、総合的、戦略的に対策を立て取り組みたい。また、長期的な視点から施設整備が必要であれば、取り組まなければならない。より志布志港が活性化するように努力したい。



志布志港コンテナ船積み下ろし作業のようす



**小野広嗣議員** 2014年度補正予算では、景気回復の流れを家計、中小企業、地方に届けるため、

地方自治体が各地の実情に応じて柔軟に使い道を決められる「地域住民生活等緊急支援のための交付金」が創設されている。この交付金を、どのように使い消費喚起、地方創生につなげるのか。

**市長** 交付金の地域消費喚起生活支援型については、プレミアム商品券発行事業を計画し、地方創生型では、地方版総合戦略人口ビジョン策定事業、情報発信事業として、中心市街地の空き店舗を活用した多世代交流等の拠点整備を行う多機能型拠点施設整備事業など、13の事業を計画している。

# 交付金、地方創生にどうつながるのか

## ▼プレミアム商品券発行事業ほか、新規事業を計画

### 地方版総合戦略の策定を

**問** 「総合戦略」ではその基本目標として、①地方での安定した雇用の創出②人の流れの転換③若者の結婚・出産・子育てに対する希望の実現④時代にあつた地域づくり、の4つを柱に掲げている。「地方版総合戦略」策定へ向けた今後の方向性を示せ。

### さまざまな分野での取り組みを検討する

**市長** これまでの健康・環境・教育に関する取り組み、本市の特性である志布志港を活用した取り組み、臨海工業団地における企業誘致の取り組み、都城志布志道路整備等のインフラ整備に伴うメリットを生かした取り組み、地域資源を活用し



志布志市地方創生推進本部会議

た農林水産業の分野での取り組みなど、さまざまな分野での取り組みを検討する。

### マイナンバー制について

**問** 本年10月に個人番号が通知され、明年1月から個人番号の利用が開始されるが、マイナンバー制度（社会保障・税番号制度）の導入に向けて、市としては今後どのように取り組むのか。

### 制度開始には万全を期す

**市長** 情報管理課で、地方税システム等の改修を行う。総務課が次年度全世界に周知用パンフレットを配布するほか、市報、ホームページ、行政告知端末等により市民への周知を図る。個人番号通知は、市民環境課が担当して制度開始に万全を期す。

### 教育委員会制度改革は

**問** 教育委員会制度が見直され、地方教育行政における責任の明確化や迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化が図られる。4月施行を目前に控え、教育委員会制度改革に対する認識と対応について示せ。

### 連携し適切に対応する

**市長** 教育委員会が本市の学校教育、社会教育等に関する事務を専門的に担当する行政機関であることを基本として、政治的中立性の確保、継続性、安定性の確保を担保しながら、適切に対応したい。

### 教育長

本市教育行政の公正かつ適正な推進のために、総合教育会議において、市長と教育委員会が協議・調整することに

より、教育に関する施策の方向性を共有しながら、本市の教育振興に努める。

### 教育相談体制の充実を

**問** 施政方針では、豊かな心の育成を図る一環として、不登校や問題行動等の早期発見・早期対応に努め、仮称「いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、いじめ問題にも取り組むとあるが、教育相談については、より多様化、深刻化していることが懸念される。教育相談体制における課題と対応について示せ。

### 相談体制の充実を図っているが課題は残っている

**教育長** 家庭と学校、家庭と行政や関係機関等をつなぐため、全小中学校にスクールソーシャルワーカーや教育相談員を派遣している。しかし、各家庭や個人の抱える悩みや問題は、プライバシーな問題であることが多く、相談が必要な家庭すべてには対応できておらず、課題が残っている。

# 市職員採用試験の受験資格の見直しを



青山 議員

## ▶ 今後、検討していく

**青山浩二議員** 本市の職員採用試験の試験区分・受験資格の現状を示す。

**市長** 一般事務Aは18～26歳までが対象となり、一般事務Bは35歳以下で民間企業等における職務経験を5年以上有する者を対象としている。また、建築技術職は18～30歳まで、建築技術の専門課程を履修したか、平成27年3月末で建築技術の専門課程を履修見込みの者、または同等の知識がある者を募集している。

**自営業まで  
広げられないか**

**問** 本市には自営業やその後継者で、市の職員を目指す若者も多い。受験機会を平等に与えるために、一般事務Bに対する受験資格の解釈を自営業まで広げることができないのか。

検討しよう

**市長** 年齢要件や受験資格等も含め、今後、検討しよう。

**スポーツ特別採用枠は**

**問** 平成26年6月議会で、「本市のスポーツ振興策の一環として、スポーツ特別採用枠を設けることはできないか」との一般質問をした。現在の市長の考えは。

考えていない

**市長** スポーツ特別採用枠として募集は考えていない。しかし、一次試験を合格すれば、二次・三次試験でスポーツでの成績を十分参考にし、採用する可能性はある。

**いじめ問題に  
対する認識は**

**問** いじめ防止対策推進法に基づき、本市でもいじめ問題対策連絡協議会・いじめ問題専門委員会・いじめ問題調査委員会が設置される。このことに対する考えは。

全市民一体となり  
取り組む

**市長** いじめは決して許

されない行為である。いじめ根絶のためにも、学校と保護者・地域・関係団体がひとつになり、子どもたちの豊かな心の育成を図っていくことが重要である。また、全ての市民が連携し取り組むことで、住みよいまちづくりにつながると考えている。

**教育長** いじめはどの学校、どの子どもにも起こり得るといふ危機意識を持って、未然防止に努めるとともに、早期発見、全件解消のために総力を上げて取り組んでいく。

**現在の取り組み状況は**

**問** いじめの未然防止や早期発見のための児童生徒や、保護者の相談しやすい体制づくりについては、どのように取り組んでいるのか。

SSWや  
教育相談員を派遣

**教育長** 学期1回以上のアンケートを実施している。また、全小中学校に、

スクールソーシャルワーカーや教育相談員を派遣し、関係部署とともに問題の解決にあたっている。

**マイサポーター制度の  
導入を**

**問** 岐阜県関市では、話しやすい先生を子どもが自分で選び、悩みがあるときは、いつでもどこでも気軽に相談できる「マイサポーター制度」を採用している。本市でもこの取り組みを行ってみたいかどうか。

検討しよう

**教育長** 本市では、いじめの問題を含めて、不登校や問題行動等の生徒指導上の問題の対応については、担当が抱え込むことがないように全校体制を築き上げるよう指導している。これはマイサポーター制度と同じ考えだが、具体的に子どもたちに選択させることについては、今後検討しよう。

**いじめ問題の項目追加を**

**問** 学校関係者評価委員会に、いじめ対策に関する項目を追加してはどうか。

校長研修会で協議する

**教育長** 全てではないが多くの学校で設定されている。今後評価項目の検討について、校長研修会で協議をし、いじめ対策の項目を設定して、いじめのない学校づくりを推進していく。



元気いっぱい遊ぶ児童



小辻 議員

# 公約事業の進捗状況説明責任は

## ▼ホームページで公表

**小辻一海議員** 施政方針の中には、市長の所信表明に基づく重点施策事業が多く占めていると考えられるが、公約事業の進捗状況（達成・変更・未達成・継続）を市民へ説明すべきではないか。

示すのか、1期目、2期目の残された施策課題について取り組む考えはないか。

### 未達成事業の取り組み方法を知らせていく

**市長** 未達成の事業については整理をして、今後、どのような形で取り組んでいくのかなどを市民へ知らせていく。

### 財政状況は良好か

**問** 市民に対して、財政状況をできる限りわかりやすく知らせる責任があると思う。昨年12月の市報では、平成25年度の一般会計は黒字決算となっているが、本市の財政状況は良好と捉えることができるか。

### 良好な状態と認識

**市長** 実質収支額は4億7785万9千円の黒字で、実質赤字比率は算定されず、良好な状態にあると認識しているが、財政構造の弾力性を示す指標である経常収支比率は、88・7で前年度より



事務事業の改善に行政評価制度を導入

0.6ポイント上昇しており、弾力性を失いつつある。一般的に70から80が標準とされていることから、今後も長期的視点で効率的で健全な財政運営を図っていきたい。

### 財政が悪化し早期健全化基準等に抵触の場合は

**問** 厳しい財政状況が予測されるが、仮に財政運営が悪化した場合どのようなことを想定しているのか。

### 自主単独事業等が制限され財政運営が厳しくなる

**市長** 早期健全化基準がイエローカード、財政再生基準がレッドカードでこれを超えた場合、財政健全化計画や財政再生計画の策定が義務付けられ自主単独事業や起債に大きな制限が掛けられるこ

とになり、独自の財政運営が難しくなる。長期的視点で効率的で健全な財政運営を図っていく。

### 事務事業の分析及び検証評価の取り組みは

**問** 市民の視点で必要性の有無や実施主体の在り方を議論して意見を集約する外部評価会議は開催されているのか。また、現在、事務事業の分析及び検証評価はどのように取り組まれているのか。

### 事務事業マネジメントシートを活用し検証

**市長** 外部評価会議は設置していない。現在、行政評価制度を導入して、毎年所管課において、目的が妥当性、有効性、効率性、公平性の4つの視点で事務事業マネジメントシートを活用しながら

検証を行い、その結果を次年度の事務事業の改善や予算編成等に反映させている。

### 補助事業見直しの取り組みと効果は

**問** 補助事業が適正であるかについて、分析及び検証評価する補助事業の見直しの取り組みと、削減、廃止等、見直し後の効果を示せ。

### 1億7700万円の効果

**市長** 補助金制度等に係る指針に基づき3年以内で見直し、検証結果をホームページで公表している。また、効果を明確に示すことは困難であるが、単純に市単独補助事業の削減及び廃止した事業の2ヶ年では、概ね1億7700万円の効果になっている。

**問** 市長が過去に所信表明した事業の検証、評価や進捗状況をどのように

### 残された施策課題に取り組む考えはないか

**市長** マニフェストに基づく公約事業を所信表明して、年次ごと施政方針を示し、議会終了後に、市報で知らせている。また、施政方針の事業内容の達成、未達成についても個別事務事業のマネジメントシートで、検証結果を毎年ホームページで公表している。



平野 議員

# 区域外就学がもたらす課題への対応策は

## ▶ 今後の検討課題としたい

**平野 栄作 議員** 学校教育基本法施行規則の一部を改正する省令が公布され、「就学校の指定を行う場合、適当と認めるときは、保護者の申立てにより指定した学校を変更できる」という制度を保護者に確実に周知し、その適切な活用を教育委員会に求めている。本市における、区域を超えた就学を認める基準と、課題、今後の考え方は。

**市長** 国の指針が示されており、この趣旨を踏まえた上で、教育委員会においても通学区域制度の弾力的運用に努め、地域の実情や保護者意向等に即して、適切に指定学校の変更が行われている。

**教育長** 指定学校を変更する理由で多いものは、①学年の途中で転居したが、学年終了まで元の学区に通わせたい②指定された学校より近い学校に通わせたい③保護者が働いており、児童生徒が帰宅した際にだれもいない場合、といった理由がある。この区域外就学の

運用については、検討する課題であり定例教育委員会においても協議した。保護者のニーズと学校側の立場等をどう調整していくかというのは非常に大きな課題であり、教育委員会の中でも、今後議論のひとつとして考えないといけない内容である。

### 時代の流れに即した対応は

**問** 保護者のニーズも多様化してきており、そのことが地域コミュニティにも、少なからず影響を及ぼしている。時代の流れによる変化であり、このような現状を受け入れ、どう対応していくのかを地域全体で考えることが、地域活性化につながると思うがどうか。

### 検討する時期にきている

**市長** 地方教育基本法が変わり、市民の意見を受け大綱を策定することになったということは、時代が変わったことが顕著に表れている内容だと思う。共生・協働・自立の

まちづくりを推進しており、学校教育分野も絡めて検討する時期にきていると思う。家庭の在り方は地域で親が近隣の方々と連携し、地域づくりに励む姿が子どもたちに好影響を与えると思うので、そのようなまちづくりをさらに目指していく。

**教育長** 区域外就学の線引きは、非常に難しいところがあるので、今後の検討課題としたい。子どもたちを地域の中で、みんなで守り育てていくことが基本なので、地域コミュニティが崩れないよう、教育委員会としても生涯学習課を含めて関心を持ち進めていく。

### 民生委員の選出方法の見直しは

**問** 担当地域内から選出する現状の基準では、今後適任者の選出に支障が生じることが予想されるため、選出枠の見直し等も考える必要があるのではないか。

### 民生委員会で協議を

**市長** 地区から選出された人の方が、面識があり相談しやすいと思う。しかし地域内で人材が得られないということが将来的に考えられるので、民生委員会で協議を進めてもらいたい。



民生委員・児童委員定例会

### 地方創生、周知方法は

**問** まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいて事業を推進していくことになる。円滑な推進のためには事業の概要等が市民全体に浸透していることが必要と思うが、その方法は。

### BTVなどを活用

**市長** この事業は人が中心となり、長期的には、その人が地域をつくり、仕事をつくり、まちをつくる流れになる。地域の方々の十分な理解と協力が必要のため、BTV・告知放送・ホームページ・広報・出前講座等のあらゆる機会を通じて理解してもらうよう進めていく。

### 地区単位に新たな支援策を

**問** ふるさとづくり委員会等の事業を、校区単位の活動から地区単位の活動へと幅を広げること、事業の拡大や新たな事業展開も期待できると思うが、支援策等についての考えはないか。

### 新しいメニューを提示

**市長** 行政側から「一緒にやってください」とは言えないが、地域間同士で協議をしてもらい、提案してもらえば、新しいメニューを提示していきたい。



八代 議員

# 販路拡大のための渡米効果は

## ▼大変意義があった

平成29年度まで延長された。早期に完了できるよう県と一体となり、予算要望に努めていきたい。

### 工期延長の周知は

**問** 両地区の最終工期が平成26年度から平成29年度まで延長されたことについて、どのような形で関係者へ周知したのか。

**市長** 両地区の最終予定工期については平成27年2月の市報で周知した。今後も市報により周知していきたい。

**他に**  
・志布志市内の地下水水質について  
・志布志港から輸出される木材の今後の見通しについて  
・「土曜授業」及び「土曜学習教室」について質問した。

業振興会及び鹿児島県、JAと連携し積極的に取り組んでいく。

### 品質保証のための取り組みは

**問** お茶の品質については、国内外となった場合、数多くの差異があると考えられる。「志布志ブランド」を前面に出した時に統一された品質をどのようなかたちで保証していくのか。

### 輸出先の基準に応じた圃場管理や技術の指導体制が求められる

**市長** 日本で好まれるものが必ずしも海外で好まれるとは限らない。輸出先の農業基準と合わせて、圃場管理や技術の指導体制が求められる。食の安全や環境基準に対して明確な基準に適合していることの証明となる、国や県が示す認証制度の取得に向けて取り組んでいく。指導体制については、茶



一番茶の収穫状況

どのようにして国内外へ販路拡大及び用途拡大の促進をしていくのか。

### 「農林水産物販路開拓事業」により可能性を

**市長** 本市及び本地域の豊かな農林水産物資源をきっちりと海外輸出できる体制が求められている。要望の高いものに対して関係者と連携を深め取り組んでいく。

**八代誠議員** 価格が低迷し、茶業農家の経営は大変厳しいと聞く。販路拡大及び用途拡大のため、渡米しトップセールスした手ごたえはあったのか。

**市長** 日本でもコーヒー専門店を展開している世界最大企業の本社に対してトップセールスをした。この企業は、お茶の専門店を傘下に持っている。現在の300店舗から今後4年間で約1000店舗まで拡大する計画がある。この会社と提携できれば、日本のお茶、そして志布志のお茶の販路拡大に大きな影響を及ぼすと実感した。今回、渡米してのセールスは大変意義があったと思うている。

### 今後の農林水産物販路拡大の手法は

**問** 本市の農林水産物を





市ヶ谷 議員

# 児童に安全な通学路を

## 総合的観点から県に要望していく



県道志布志有明線の野神小学校前

**市ヶ谷孝議員** 県道志布志有明線の野神小学校前を通る部分について、市は、どのような認識を持っているか。

**市長** 学校側に歩道を設けた2車線、時速40kmの規制がされている。野神青少年館から野神郵便局まで3ヶ所の横断歩道があり、朝夕は大型車を含む交通量も多く、スピードを上げて走る車もある。野神小学校前後の横断歩道は見通しも悪く、横断者には非常に危険な区間であると認識している。

### 児童の安全性を高めるための方策は

**問** 現在、野神小学校に通う児童の一部はやむを得ず、狭い路側帯を通っての登下校を強いられている。この児童の安全性を高めるために、どのような方策が考えられるか。

### 県と小学校の間で協議が進んでいる

**市長** そのような児童については危険性が極めて高いと認識している。3月4日には野神小学校か

ら県の地域振興局に、安全対策について相談があったと聞いた。本年度中の対策として、狭い路肩部分にラバーポール10本程度、約100m分を青少年館前と消防の前に設置する案を学校側と協議したいとのことである。

### 志布志市通学路交通安全プログラムの効果は

**問** 平成26年3月に志布志市通学路交通安全プログラムが策定された。まもなく1年が経過するが、そのプログラムに沿って、どのように通学路への安全面の配慮が図られたのか。

### 推進会議で取り組んでいる

**市長** このプログラムに基づき、本年度から関係機関を含めた推進会議を開催した。その中で、児童生徒が安全に通学できるよう通学路の点検、ハード対策以外の方法を検討している。また、それらの対策に継続的に取り組むことを推進している。

**教育長** 通学路の安全確保というのは、子どもたちの生命を守るための、非常に大事なことである。そのために市内全ての学校で通学路の安全マップを作成したり、教師自らが通学路の安全点検をおこなっているが、学校単独では限度がある。志布

志布志市通学路交通安全プログラム策定により、教育委員会、道路管理者、警察署を含めた総合的な観点で、子どもたちの命を守る取り組みを進めている。

### 県道の拡幅工事の進捗状況は

**問** 県道志布志有明線の野神郵便局前から芝用の交差点までの区間は、平成25年度に地方特定道路整備事業にて事業採択されたが、工事の進捗状況はどうなっているのか。

### 平成28年度から工事着手予定

**市長** 平成25年から26年度にかけて測量設計及び用地調査を実施し、現在、一部買収が終了している。

平成28年度から着工予定とされている。

### 県との連絡体制は

**問** 現在の工事予定や用地買収の進捗状況について、県との連絡体制はどのようになっているのか。

### 年に2回の推進会議

**建設課長** 年に2回ほど、市長も交えて土木連絡推進会議を行っている。また、幹事会では年度ごとの事業の計画についての意見交換も行っている。

### 歩道は確保されているか

**問** 工事区間全域において、歩道の幅員は確保されているのか。

### 2.5mの歩道を確保

**市長** 小学校側に2.5m確保されている。



鶴迫 議員

# 商店街活性化の取り組みは

## ▼通り会など、地域一体で取り組む

いく。地元既存商工業者や商工会、地域おこし協力隊等、新たな発想も取り入れ、地域一体となり取り組む。

**港湾商工課長** 補正予算で空き店舗調査事業・多機能型拠点施設整備事業・販路拡大支援事業を計上した。27年度当初予算では、小規模事業・持続的発展支援事業・店舗リフォーム助成事業を計上した。

商店街の活性化が課題



**鶴迫京子議員** 市長は先の議会で「これまでの市政を振り返り、志布志地区中心市街地の活性化については、まだまだ目標達成ができていない」と答弁した。今回、追加議案で地方創生先行型の13事業とプレミアム商品券事業合わせて

**市長** 志布志市商工業振興対策協議会や商工会、通り会の方々とも十分に協議しながら、魅力ある商店街づくりを目指して

**水産振興関係の27年度予算は**

**問** 現在、漁獲高も減り漁業を取り巻く環境は大変厳しいものがあるが、施政方針の中で水産振興については、わずか6行しか述べられていない。27年度予算は、いくら計上しているのか。

**221万1千円である**

**市長** 221万1千円である。現在は、漁協所属のバッチ網利用者について燃油助成、船底清掃費助成等している。県の事業では志布志湾に漁礁の設置を進めている。

### 漁業の実態は

**問** 現在の漁業従事者数と業種別の形態は。

**漁協組合員数は101名**

**市長** 現在志布志漁協の組合員数は、正組合員で70名、準組合員で31名の計101名である。業種は底引網・機船底引網・回し網・たて網・定置網・かご網・底刺し網等である。

### カキ養殖実験に支援は

**問** 漁協でカキの養殖実験を開始したとのことだが市は支援しないのか。

**支援はしていない  
県に相談していく**

**耕地林務水産課長** 去年の9月頃から漁協で実験が始まり、現在のところ、市は支援をしていない。27年度は拡大した形で実験予定と聞いている。市としても同時に補助事業を模索し、県に相談していきたい。

### 学校給食にちりめんを

**問** 学校給食の特産品5品目の中に鱧とうなぎはあるが、ちりめんが入っていない。志布志特産のちりめんを食べて、骨の強い元気な子どもに育てほしいと思う。6品目

として給食に加える考えはないか。

調査してみたい

**教育長** 給食に関して、地産地消、郷土の産物を子どもたちに提供することは大事である。なぜ、ちりめんが入っていないのかを把握していないので、価格面など再度、調査してみたい。



学校給食

**他に**  
・志布志高校の生徒確保のための支援策  
・子ども短期入所生活支援事業（子どもシヨートステイ）  
の進捗状況について質問した。



小園 議員

# 本庁舎の在り方検討委員会の取り組みは

## ▶ 早いうちに取り組みたい



志布志支所

**小園義行議員** 12月議会で、庁舎問題について1月に研修し、在り方検討委員会等の立ち上げを含めて議論するとの答弁であったが、この間の取り組みの内容は。また、研修の結果をどのように受け止めたのか。

**市長** 栃木県下野市及び広島県江田島市を担当職員が研修した。2つの事例報告を聞き、市民の意見を尊重し、最大限聞き

ながら進めていく内容だと思つた。在り方検討委員会の立ち上げについては27年の早い時期に取り組みたい。

### 介護報酬削減の影響は

**問** 国が介護報酬の27%削減を打ち出し、第6期が始まるうとしていますが、どのような議論があり提案したのか。

### 関係団体と検討する

等は、再構築する必要がある。平成28年4月から総合事業を開始できるよう、必要となる支援体制を民間やボランティア関係団体等と検討していく予定である。

### 法定外繰入れによる負担軽減の検討は

**問** 第6期計画で介護保険料の引き上げが提案されている。法定外の繰入れをして、住民の負担を軽減する考えはなかったのか。また、策定委員会の中で、どのような議論があったのか。

**市長** 団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え医療、介護、介護予防等自立した日常生活の支援を包括的に確保するよう努め、どのように地域をつくっていくかについて検討を重ねてきた。予防給付から総合事業へ移行する訪問介護と通所介護について、現在、サービスを使っている方は継続できるようにしたい。



特別養護老人ホーム

### 法定外繰入れによる軽減は見込んでいない

**市長** 第5期の所得段階ごとの保険料率を踏襲しつつ負担能力に応じたきめ細やかな保険料設定とした。公費を投入して低所得者の保険料軽減の強化を図る仕組みが制度化される予定であることから、法定外繰入れによる軽減は見込んでいない。公費を投入しての保険料軽減強化は、市の裁量でおこなっているが、一般財源の持ち出しであるため、低所得者の実態を把握しながら慎重に検討し、保険料軽減については、6月議会で提案する。

### 保健課長 策定委員会の意見として「年金生活者にとつては、もう少し減額できないか」、「減額の方策をとって欲しい、なるべく介護保険を使わない方法を考えていかなければならない時期にきているのではないか」、「納めやすい方法を検討していかないと、消費税も上がってくるので難しくなると思う」等の声があった。

他に  
・ 施政方針（地方創生）  
・ 健康増進法  
・ 学校教育  
について質問した。

「志」(しぶしぶ)の町、志布志市が誕生して、本年、平成27年は節目の10年を迎えます。

平成25年12月20日、議会における最高規範である志布志市議会基本条例を市民への情報公開・福祉の向上・市政の発展等を目的に議員総意により初めて制定しました。

「このままではいけない」との認識で議会改革に取り組み、住民の期待に応え、住民の意見をもっと聴き、耳を傾け、我々議員もその上で議論をし、議会運営の改革に心掛けたいと思います。

そこで、本年5月に志布志地区・有明地区・松山地区の旧町ごとに議員及び住民が自由に情報及び意見を交換する「議会報告会」を開催することになりました。市民の多数のご参加を願い、議会に対する市民の関心の高まりを期待します。

# 議員控室 「議会報告会」

毛野了



## どうぞ傍聴席へ 次回定例会は6月です



◎開会中は、本会議の様子をケーブルテレビの112チャンネルで生放送しています。また、当日の午後8時から録画再放送もあります。  
◎インターネットでもライブ中継と録画中継を公開しています。志布志市ホームページからご覧ください。  
志布志市トップページ≫志布志市議会≫議会中継≫議会中継へ

### 編集後記

持留 忠義



平成26年12月21日、山重太吉翁の石碑が山重青少年館入口に建立され、除幕式が盛大に開催されました。  
山重太吉翁の生涯をたどれば、明治43年蓬原開田のため馬場藤吉と京都に行き、大正2年荒谷開田に着工するも、翌3年に桜島大噴火で水路が崩壊しますが、めげずに挑戦。大正3年から大正11年、田畑35haの私財を投入し、荒谷開田43haを大正15年に完成。昭和27年には上荒土地改良区を設立。この先駆者に敬意を表するとともに農業者として耕作放棄地解消に努力してまいります。

さて、市議会も新体制がスタートし、1年以上が経過し、基本条例が制定され初めての議会報告会が開催されます。議会報告会を通して、市民の皆さんと交流を深め、充実した議会活動を行っていきたいと思います。



広報等調査  
特別委員会

委員長

◎鶴迫 京子

副委員長

○平野 栄作

市ヶ谷 孝

青山 浩二

野村 広志

持留 忠義

西江 園明

長岡 耕二

岩根 賢二

発行責任者

志布志市議会議長

上村

環